

放課後児童健全育成事業 事故報告様式 (Ver.2) *水色枠内はプルダウンメニューから選択してください 【別紙1】

事故報告日				報告回数					
自治体名				事業所名					
所在地				事業開始年月日					
設置者 (社名・法人名・自治体名等)				事業者					
登録児童数		小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	計	
放課後児童支援員等数				名		うち補助員数		名	
うち放課後児童支援員数				名					
クラブの実施場所		□学校の余裕教室・□学校敷地内専用施設・□児童館・□その他()							
建物その他の設備の規模および構造		専用区画	m ²	1人当たり	m ²	その他	m ²	合計	m ²
		建物の構造: 造				建物の階数: 階建の 階			
発生時の体制		児童数		名	放課後児童支援員等数		名	うち放課後児童支援員数	
発生時の体制				名	放課後児童支援員等数		名	うち放課後児童支援員数	
事故発生日				事故発生時間帯					
児童の年齢	学年			利用開始年月日					
児童の性別				事故誘因					
事故の転帰				(負傷の場合) 負傷状況					
(死亡の場合) 死因				(負傷の場合) 受傷部位					
病状・死因等 (既往歴)		【診断名】							
		【病状】							
		【既往症】		病院名					
特記事項 (事故と因子関係がある場合に、身長、体重、既往歴・持病・アレルギー、発育・発達状況、発生時の天候等を記載)									
発生場所									
発生時状況									
発生状況 (当日来所時からの健康状況、発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入。第1報においては可能な範囲で記入し、2報以降で修正すること)									
当該事故に特徴的な事項									
発生後の対応 (報道発表を行う(行った)場合にはその予定(実績)を含む)									

- ※ 第1報は赤枠内について報告してください。第1報は原則事故発生日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。
- ※ 第2報報告に当たっては、記載内容について保護者の了解を得た後に、各自治体へ報告してください。
- ※ 記載欄は適宜広げて記載してください。
- ※ 直近の指導監査の状況報告を添付してください。
- ※ 発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

放課後児童健全育成事業 事故報告様式【事故再発防止に資する要因分析】

要因	分析項目	記載欄【選択肢の具体的内容を記載】
ソフト面 (マニュアル、研修、職員配置等)	事故予防マニュアルの有無	(具体的内容記載欄)
	事故予防に関する研修	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	職員配置	(具体的内容記載欄)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
ハード面 (施設、設備等)	施設の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	遊具の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	玩具の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
環境面 (育成支援の状況等)	育成支援の状況	
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
人的面 (放課後児童支援員等の状況)	対象児の動き	(具体的内容記載欄)
	担当職員の動き	(具体的内容記載欄)
	他の職員の動き	(具体的内容記載欄)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
その他	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
【所管自治体必須記載欄】 事故発生の際の要因分析に係る自治体コメント ※事業所(者)は記載しないでください。		

《事故報告様式送付先》

●厚生労働省子ども家庭局 保育課(子育て支援課) 健全育成推進室 (FAX: 03-3595-2749 Email: clubsenmon@mhlw.go.jp)

(こちらへも報告してください)

●消費者庁消費者安全課 (FAX: 03-3507-9290 Email: i.syouhisya.anzen@caa.go.jp)

プルダウンメニュー別表（水色のセルには以下の選択肢から選んだものを記載してください）

項目	以下の中から選択してください
事故発生時期	1月～12月
事故発生時間帯	1. 朝(～午前10時頃) 2. 午前中 3. 昼食時 4. おやつ時 5. 午後 6. 夕方(16時頃～) 7. 夜間(19時頃～)
子どもの年齢	1. 6歳 2. 7歳 3. 8歳 4. 9歳 5. 10歳 6. 11歳 7. 12歳 8. その他
クラス(学年)	1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生 7. その他
子どもの性別	1. 男児 2. 女児
事故の転帰	1. 負傷 2. 死亡
死因	0. 負傷 1. 窒息 2. 病死 3. 溺死 4. アナフィラキシーショック 5. その他
事故誘因	0. 死亡 1. 遊具等からの転落・落下 2. 自らの転倒・衝突によるもの 3. 子ども同士の衝突によるもの 4. 玩具・遊具等施設・設備の安全上の不備によるもの 5. 他児から危害を加えられたもの 6. アナフィラキシーによるもの 7. 溺水によるもの 8. その他
負傷状況	0. 死亡 1. 意識不明 2. 骨折 3. 火傷 4. 創傷(切創・裂創等) 5. 口腔内受傷 6. その他
受傷部位	0. 死亡 1. 頭部 2. 顔面(口腔内含む) 3. 体幹(首・胸部・腹部・臀部) 4. 上肢(腕・手・手指) 5. 下肢(足・足指)
発生場所	1. 施設敷地内(室内) 2. 施設敷地内(室外・園庭・校庭等) 3. 施設敷地外(公園等)
発生時状況	1. 屋外活動中 2. 室内活動中 3. 食事中(おやつ含む) 4. 水遊び・プール活動中 5. 来所・帰宅中 6. その他
事故予防マニュアルの有無	1. あり 2. なし
事故予防に関する研修	1. 定期的実施 2. 不定期実施 3. 未実施
職員配置	1. 基準以上配置 2. 基準配置 3. 基準以下
施設の安全点検	1. 定期的実施 2. 不定期実施 3. 未実施
遊具の安全点検	1. 定期的実施 2. 不定期実施 3. 未実施
玩具の安全点検	1. 定期的実施 2. 不定期実施 3. 未実施
育成支援の状況	1. 集団活動中・見守りあり 2. 集団活動中・子どもたちのみ 3. 個人活動中・見守りあり 4. 個人活動中・子どものみ 5. 食事(おやつ)中 6. その他
対象児の動き	1. いつもどおりの様子であった 2. いつもより元気がなかった(その理由:記載) 3. いつもより活発・活動的であった(その理由:記載) 4. 具合が悪かった(熱発・腹痛等理由を記載)
担当職員の動き	1. 対象児とマンツーマンの状態(対象児に接していた) 2. 対象児の至近で対象児を見ていた 3. 対象児から離れたところで対象児を見ていた 4. 対象児の動きを見ていなかった
他の職員の動き	1. 担当者・対象児の動きを見ていた(至近距離にいた) 2. 担当者・対象児の動きを見ていなかった